

看護技術研修（基礎Ⅰ・Ⅱ） ～信頼される安全な看護を目指す～

4月 Apr.

▶ 新卒者が、4月から6月にかけて看護技術研修（基礎Ⅰ・Ⅱ）を受講しました。患者さんの状況に合わせた方法や声掛けについて、研修者同士で話し合いながら取り組んでいました。

▶ 経口・直腸与薬や末梢点滴静脈注射では、7R確認や「2人連続型」でのダブルチェックを意識し安全な薬剤投与について考えました。



▶ 口鼻腔吸引では、解剖生理を確認しながら、手技や看護について学びました。

▶ 移乗・移動（車椅子・ストレッチャー）では、患者役を経験し、患者さんはどのような声掛けがあると安心できるのか、理解を深めていました。

5・6月 May Jun.

▶ 右麻痺・失語がある患者さんに合わせた口腔ケアの方法や注意すべき点を考えました。



▶ 輸液ポンプやシリンジポンプでは、キョクイファイナルチェックやアラーム対応を行い、操作の難しさや確認の重要性を実感していました。

▶ 静脈血採血では、お互いに患者役となり、実際に採血を実施しました。酸素療法では、安全な酸素投与のために必要な確認や患者説明を考え、実践しました。



▶ 6月は経尿道的膀胱留置カテーテルや浣腸など、患者さんにとって羞恥心や身体的負担が大きい技術を演習し、安心・安楽なケアを考えていました。

▶ 筋肉注射では、臀部への注射のほか、アナフィラキシーショック時のアドレナリン注射についても、場面を設定し実践しました。

5月 May

6月 Jun.